

議 事

第 2 次岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2025年度実績）について

- | | |
|---|-------|
| ア 評価方法、基本施策別の評価結果 | 1 ページ |
| イ 数値目標の進捗状況 | 3 ページ |
| ウ 第 2 次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版）
2025年度施策評価シート | 6 ページ |

第2次岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2025年度実績）について

ア 評価方法、基本施策別の評価結果

第2次岡山県スポーツ推進計画に基づいて実施する施策が、施策目標に対してどれほど達成できているか判断するため、5段階で評価したものです。

【第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版）】

計画の期間を令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年間とし、4つの基本施策を実施しています。

（ア）評価方法

①評価指標

5点	目標を大きく上回り、著しく高い成果が現れている。
4点	目標を上回っており、具体的成果が現れている。
3点	概ね目標を達成しており、具体的成果が現れている。
2点	目標に達しておらず、関連する所管事業の改善が必要である。
1点	目標を大きく下回り、関連する所管事業の根本的な見直しが必要である。

②総合評価

関係各課の評価の平均値を出し、小数第1位まで数値化している。

（イ）基本施策別の評価結果

6～36ページのとおり

（ウ）総 括

第2次岡山県スポーツ推進計画の3年目である令和7（2025）年度は、総合評価は、概ね前年度と同じ結果となっている。数値目標に関しては、今後の伸びが期待できるものの、目標から開きがある項目もあり、更に各施策を推進する必要がある。

基本施策Ⅰ：多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

項 目	総合評価	前年度比
1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	3.0 (3.0)	→
2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	3.3 (3.3)	→
3 学校における体育・スポーツ活動の充実		
（１）子どもの体力向上に向けた取組	3.0 (3.0)	→
（２）運動部活動改革の推進	3.0 (3.0)	→
4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進		
（１）障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	3.0 (3.0)	→
（２）障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅱ：アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	総合評価	前年度比
1 アスリートの育成・強化	3.0 (3.0)	→
2 アスリート育成パスウェイの構築	2.0 (3.0)	↓
3 指導者の育成・資質向上	4.0 (4.0)	→
4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	3.0 (3.0)	→
5 アスリートの安全・安心の確保	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅲ：スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

項 目	総合評価	前年度比
1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	3.0 (3.0)	→
2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	3.3 (3.3)	→
3 トップクラブチームを核とした地域活性化	3.0 (3.0)	→
4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	—	—

基本施策Ⅳ：スポーツ環境の整備

項 目	総合評価	前年度比
1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	3.3 (3.3)	→
2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	3.0 (3.0)	→
3 スポーツ界におけるDXの推進	3.0 (3.0)	→
4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	4.0 (3.0)	↑

※「総合評価」の括弧内は、前年度の総合評価を参考に記載しています。

イ 数値目標の進捗状況

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版）は、計画の期間を令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年間とし、4つの基本施策において16項目の数値目標を設定している。

基本施策Ⅰ

多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

項 目		基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	直 近 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
成人男女の1週間に1日以上 運動・スポーツをする割合		38.9%	37.1%	43.8%	45.5%	55.0%
1週間の総運 動時間数60分 未満の児童生 徒数の割合 (※)	【小5男子】	9.5%	9.1%	9.8%	10.3%	4.3%
	【小5女子】	15.5%	16.4%	17.1%	18.2%	7.4%
	【中2男子】	7.6%	12.2%	9.0%	9.2%	3.7%
	【中2女子】	17.9%	25.7%	21.6%	23.4%	8.9%
運動やスポー ツをすること が好きな児童 生徒数の割合 (※)	【小5男子】	69.2%	72.1%	72.5%	73.2%	74.0%
	【小5女子】	53.1%	53.5%	54.7%	54.9%	56.0%
	【中2男子】	64.1%	64.3%	67.7%	67.9%	66.0%
	【中2女子】	47.8%	44.9%	45.9%	44.9%	47.0%
新体力テスト における総合 評価C以上の 児童生徒数の 割合 (※)	【小5男子】	64.3%	65.6%	64.3%	66.1%	80%以上
	【小5女子】	69.9%	70.7%	69.6%	70.5%	80%以上
	【中2男子】	67.6%	67.3%	71.2%	71.8%	85%以上
	【中2女子】	81.7%	80.7%	81.6%	80.8%	85%以上
障害者スポーツ・レクリエー ション教室等の開催回数		年間 26回 (*R3年度)	47回	49回	48回	年間 50回以上

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施に様々な権限を有し、岡山市の実態を踏まえた独自の教育施策を推進しているが、第2次岡山県スポーツ推進計画は、岡山県の全世代の県民を対象にしていることなどから、岡山市も含んだ数値を目標としている。

基本施策Ⅱ

アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	直 近 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
国民スポーツ大会における天皇杯順位 (※1)	16位 (*R4年)	20位	15位	20位	10位台
世界大会の出場者数	13人 (※2)	14人	15人	25人	15人
「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者	4人 (*R3年度)	4人	3人	1人	5人
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	3,206人	3,486人	4,012人	4,738人	3,600人

※1 「国民体育大会」は、令和6年(第78回大会)から「国民スポーツ大会」に名称を変更している。

※2 平成30年～令和3年(令和2年を除く)の平均

基本施策Ⅲ

スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	直 近 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	34.3% (*R3年度)	51.7%	48.4%	50.0%	50.0%
「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	28.2%	31.0%	30.6%	— (※1)	38.0%
県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合 (※2)	—	21.7% (基準値)	<u>24.6%</u> (※3)	24.8%	25.0%
国際スポーツイベント等誘致件数	2件 (*R4年度見込)	3件	3件	5件	2件以上
トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	111千人 (*R3年度)	248千人	264千人	377千人	267千人

※1 「第4次晴れの国おかやま生き活きプラン」の目標値(生き活き指標)が、下の「県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合」に変更されたことに伴い対象調査

での集計が終了。

※2 令和6年度の計画改訂により、目標値が新たに設定された項目である。

※3 確定値に修正。

基本施策Ⅳ

スポーツ環境の整備

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	直 近 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
県営スポーツ施設利用者数	492千人 (*R3年度)	1,480千人	1,576千人	1,730千人	1,847千人
スポーツ情報ウェブサイト 「おかやまスポーツナビ」の アクセス数	28,103件 (※)	26,273件	22,328件	55,119件	42,000件

※ 平成30年度～令和3年度の平均

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	子ども・福祉部子ども未来課 教育庁保健体育課 環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	・幼児の運動遊び、リズム遊び等を行うおかやま地域子育て支援拠点の認知度向上の取組や情報発信を行った。 ・おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を実施し、従事者の育成、質の向上を図った。 ・国公私立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動の充実を図ったほか、幼児期を対象とした教室等に幼児期指導者を派遣し、幼児期から運動・スポーツに親しむ生活環境のきつかけづくりを図った。 ・部活動の地域展開に向け、県教委と連携して合同連絡会を開催し、実証事業の進捗状況や課題、成果などを市町村や競技団体等と共有を図ったほか、市町村等と連携し、指導者の確保に努めるとともに、指導者の資質向上のための研修会を開催し、地域クラブ活動の環境整備を進めた。 ・「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域（12市町）では、運営主体を明確にすることで、実務を担う体制が整い、地域の実情に応じた受け皿の整備が進んだ。 ・県内7トップクラブチームのホームゲームで開催した「おかやまスポーツフェスト」等において、子どもや若者がスポーツ活動に取り組む機会の提供、意欲の向上に努めた。 ・県内のトップアスリート等を市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、競技力の向上と地域スポーツの振興を図った。
課題	・地域子育て支援拠点事業従事者の更なる質の向上を図る必要がある。 ・国公私立幼稚園・認定こども園向けの研修等で「学校体育実技指導資料」を紹介し、現場での定着や授業の質的向上につなげるための支援が必要である。 ・アクティブ・チャイルド・プログラムの定着に向け、対象を絞り効果的な情報発信に取り組む必要がある。 ・部活動の地域展開に向けて、運営団体の整備、指導者や活動場所の確保、費用負担の在り方などの課題があることから、市町村、競技団体等と連携を図り、好事例の共有を行うとともに、指導者の更なる確保と資質向上に取り組む必要がある。 ・改革の主体である市町村と一体となり、それぞれの地域に応じた部活動の地域展開の実現を目指し、取り組む必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	子ども未来課	事業内容	・地域子育て支援拠点事業を実施する市町村への支援（子ども・子育て支援交付金の交付、事業実施への技術的助言等） ・地域子育て支援拠点事業に従事する者の育成、資質向上 ・地域子育て支援拠点事業のPR			
		成果・課題	【成果】 ・実施市町村数：26市町村 ・子育て支援員研修修了者：158名 ・PR：岡山県ホームページによる紹介 【課題】 ・地域子育て支援拠点事業の認知度向上 ・更なる従事者の育成及び資質向上	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

2	保健体育課	事業内容	・運動遊び等の指導力向上につながる指導者研修会の実施 ・運動部活動の地域クラブ活動への移行に向けた取組			
		成果・課題	評価	2023年度	3	
				2024年度	3	
				2025年度	3	
				2026年度		
				2027年度		
				2028年度		
【成果】 ・国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を8月に1回（参加者数：67名）実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域（12市町）では、運営主体の明確化により、実務を一括して担う体制が整い、部活動の地域展開に向けた受け皿が着実に整備された。 ・地域移行支援アドバイザーを5市町、延べ10回派遣し、市町の取り組みの支援を行った。 【課題】 ・「学校体育実技指導資料」をより有効に活用する必要がある。 ・モデル地域（12市町）以外の市町村でも、地域展開が進むよう支援が必要である。また、地域展開をさらに進めるためには、先導役が必要である。						

3	スポーツ振興課	事業内容	・幼児期指導者や保護者向けに「アクティブ・チャイルド・プログラム」の研修会を開催するとともに、県内の保育園や幼稚園等に指導員を派遣し、同プログラムの普及を図る。 ・部活動の地域展開に当たり、県教委と連携して合同連絡会を開催するほか、指導者の人材確保や資質向上を図るため、研修会を開催する。 ・トップクラブチームのホームゲームにおける応援イベント「おかやまスポーツフェスト」等を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組むきっかけづくりを提供する。 ・県内のトップアスリート等を市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、トップアスリートとの交流の機会を提供するとともに、技術指導を実施する。			
		成果・課題	評価	2023年度	3	
				2024年度	3	
				2025年度	3	
				2026年度		
				2027年度		
				2028年度		
【成果】 ・岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動が充実するよう支援した。 ・アクティブ・チャイルド・プログラムを活用した親子体験会・指導者研修会を開催し、運動遊びを通してプログラムの普及を行った（親子体験会：81組208名、指導者研修会：17名）。また、県内教育委員会や幼稚園、保育園等に幼児指導者を6回派遣し（参加者175名）、様々な運動遊びの指導を行い、幼児期からのスポーツ活動のきっかけ作り等プログラムの普及を図ることができた。 ・部活動の地域展開に向け、県教委と連携を図り、市町村や競技団体等を対象に合同連絡会を3回開催し、実証事業の進捗状況や課題、成果などを共有するとともに、関係者間の情報交換など取組の促進に努めた。また、市町村と連携し、今後指導者となり得る人材について把握するとともに、既存の人材バンクのシステム改修を行い、市町村や関係者間での指導者情報の共有を進めた。さらに、指導者となり得る方を対象に、指導に必要なとなる知識を習得する、資質向上のための研修会を4回開催（参加者：192名）するとともに、研修会において、人材バンクへの登録について働きかけるなど、指導者の確保を図った。 ・「おかやまスポーツフェスト」等において、スポーツ体験やエスコートキッズなどの企画を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組む機会の提供を行うとともに、意欲の向上に努めた。 ・県内のトップアスリート等を学校等に派遣し、スポーツの裾野拡大を図った。（R7年度：296回派遣、R6年度：287回派遣） 【課題】 ・アクティブ・チャイルド・プログラムの定着に向け、対象を絞り効果的な情報発信に取り組む必要がある。 ・部活動の地域展開に向けて、市町村や競技団体と連携を図り、好事例の共有を行うとともに、指導者の更なる確保、資質向上に取り組む必要がある。 ・それぞれの地域の実情に応じた部活動の地域展開を目指し、改革の主体となる市町村と一体となり取り組む必要がある。 ・スポーツに関わる人の更なる増加に向けて、引き続きより効果的な企画内容を検討する必要がある。						

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 保健医療部健康推進課 子ども・福祉部長寿社会課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	計画策定時	38.9%（2022年度）					
	指標の説明	・岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」による。 ・「岡山県晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値（生き生き指標）であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	目標値	55.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				37.1%	43.8%	45.5%			

（2）成果及び課題

成果	- 令和7年11月9日に開催した「おかやまマラソン2025」は、男女とも幅広い年代から参加いただいた。アンケートによる満足度調査においても、全ての項目において「大変満足」「まずまず満足」と回答した割合がおおむね80%を超えており、ランナーの皆さまから大変高い評価をいただいた。 - 県内のスポーツイベントや研修会等の情報をまとめたポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通して、県民のスポーツ活動への参加を促進した。
課題	- おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に応募していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 - 県民のスポーツ活動をより一層促すため、県民ニーズに沿ったスポーツ関連情報の発信やスポーツに触れる機会の創出を行う。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・全ての県民が、それぞれの体力や技術、興味、目的に応じて、運動・スポーツ活動に親しみ、楽しむことができる機会を創出する。			
		成果・課題	【成果】 ・県内のスポーツイベントや研修会等の情報をまとめたポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通して、県民のスポーツ活動への参加を促進した。また、指導者人材バンク等のシステム改修を行い、利便性をより高めた。 【課題】 ・県民のスポーツ活動をより一層促すため、県民のニーズに沿ったスポーツ関連情報の発信やスポーツに触れる機会の創出を行う。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

2	スポーツ振興課（おかやまマラソン事務局）	事業内容	・ おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。				
		成果・課題	【成果】 ・ おかやまマラソン2025では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・ フルマラソン定員15,000人に対し、25,594人応募 ・ ファンラン定員1,400人に対し、2,932人応募 ・ ボランティア4,900人 ・ 沿道応援113,000人 ・ 経済波及効果額19.2億円 【課題】 ・ 引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4	
					2024年度	4	
					2025年度	4	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
3	健康推進課	事業内容	・ 「地域・職域保健連携推進協議会」において、関係機関・団体と働き盛り世代の運動定着について協議する。 ・ 高齢者向けに作成した、フレイル予防のパンフレットを活用し、運動を含めた健康づくりの普及を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・ 高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。 ・ 働き盛り世代が職場等で身体活動を増やす啓発をするため、リーフレットを作成した。 【課題】 ・ 壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。（健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023の普及、リーフレット「身体活動アップ&座る時間ダウンのすすめ～職場の中でコツコツ～健康づくり！」の活用）	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
4	長寿社会課	事業内容	・ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣 ・ 地域活動参加のための情報提供及び相談対応 ・ ニュースポーツの普及及び用具の貸出等				
		成果・課題	【成果】 ・ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ県選手団を派遣することで、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図ることができた。（ねんりんピック岐阜2025） ・ ニュースポーツの普及及び用具の貸出による競技体験の実施により、高齢者の健康と生きがいづくり、地域参加への一助となった。 【課題】 ・ 引き続き、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣にあたり、岡山県社会福祉協議会等と連携し、参加団体や実行委員会（事務局）等との調整を図るとともに、全国健康福祉祭（ねんりんピック）やニュースポーツ等の普及啓発を図り、さらなる地域参加を促進していく必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.3	3.3	3.3			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (1) 子どもの体力向上に向けた取組	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	1 週間の総運動時間数 60分未満の児童生徒数の割合	計画策定時	小5 男子：9.5%、小5 女子：15.5% 中2 男子：7.6%、中2 女子：17.9% (いずれも2022年度)						
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5 男子：4.3%、小5 女子：7.4% 中2 男子：3.7%、中2 女子：8.9% (いずれも2028年度)						
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				小5 男子	9.1%	9.8%	10.3%			
				小5 女子	16.4%	17.1%	18.2%			
				中2 男子	12.2%	9.0%	9.2%			
	中2 女子	25.7%	21.6%	23.4%						

数値目標	指標名	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合	計画策定時	小5 男子：69.2%、小5 女子：53.1% 中2 男子：64.1%、中2 女子：47.8% (いずれも2022年度)						
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5 男子：74.0%、小5 女子：56.0% 中2 男子：66.0%、中2 女子：47.0% (いずれも2028年度)						
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				小5 男子	72.1%	72.5%	73.2%			
				小5 女子	53.5%	54.7%	54.9%			
				中2 男子	64.3%	67.7%	67.9%			
	中2 女子	44.9%	45.9%	44.9%						

数値目標	指標名	新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒の割合	計画策定時	小5男子：64.3%、小5女子：69.9% 中2男子：67.6%、中2女子：81.7% (いずれも2022年度)						
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5男子：80%以上、小5女子：80%以上 中2男子：85%以上、中2女子：85%以上 (いずれも2028年度)						
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				小5男子	65.6%	64.3%	66.1%			
				小5女子	70.7%	69.6%	70.5%			
				中2男子	67.3%	71.2%	71.8%			
	中2女子	80.7%	81.6%	80.8%						

(2) 成果及び課題

成果	・令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の新体力テストにおける体力合計点は、小5男女・中2男女で全国平均点を上回ることができた。 ・運動やスポーツが好きな児童生徒の育成につながる体育・保健体育授業等の実施に向けて、県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援（体育授業エキスパート派遣事業）を行い、児童生徒が運動やスポーツに主体的に取り組むことができるよう、教員の指導力向上を図った。 ・各体連等と連携し、各種研修会において新学習指導要領に対応した体育、保健体育の授業についての指導助言を行い、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフが実現されるための資質・能力が育成されるよう指導内容や方法等の充実や改善を図った。
課題	・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業について、引き続き周知する必要がある。 ・引き続き、小・中体連と連携しながら子どもの体力向上への取組を進める必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、さらに多くの学校が活用するように市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	保健体育課	事業内容	・「みんなでチャレンジランキング」「体力アップ・マイベストチャレンジ！」への参加呼びかけ ・「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の作成および活用呼びかけ ・県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援 ・授業実践例等をホームページで紹介 ・小、中、高体連への指導助言 ・小、中、高体連が開催する各種スポーツ大会等の支援				
			成果・課題	【成果】 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」を積極的に推進したことにより、参加学校園数、参加人数ともに令和6年度と同じ水準であった。 参加校園数：181(172) 参加チーム数：1,549(1,398) 参加延べ人数：44,088(47,193) ※()はR6年度 ・児童自らが新体力テストにおける目標を設定し、記録更新に向けて挑戦する「体力アップ・マイベストチャレンジ！」を実施し、参加人数は過去最高だった。 参加学校数：73(60) 参加人数：7,307(5,909) 目標達成児童数：3,118(2,541) 目標達成児童割合:43(43) ※()はR6年度 ・学校や家庭での運動時間の増加を目的として、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を県内公立小学校へ配付するとともに、一定の条件を達成した児童に運動マスターバッジを贈呈することで、継続的かつ自発的に運動をしようとする意識を高めることができた。 活用校数：48(57) 参加児童数：6,252(6,455) バッジ配付児童数：3,171(3,265) 目標達成児童割合:51(50) ※()はR6年度 ・体育授業エキスパート派遣事業 活用回数5回（小：5回） 参加教員数105名（小：105名） 【課題】 ・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業の積極的な活用について、さらに周知する必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、活用回数の更なる増加のため、市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連等とともに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。	2023年度	3	
		2024年度			3		
		2025年度			3		
		2026年度					
		2027年度					
		2028年度					

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (2) 運動部活動改革の推進	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・安心安全な部活動推進事業として、体罰・ハラスメント根絶に関する研修会とモデル校による暑熱対策実践研究を行った。 ・体罰・ハラスメント根絶に関する研修会では、県立学校の部活動顧問全てを対象としたeラーニング研修の実施と、県内中学校高等学校の保健体育教員約200名を対象に、有識者による講演会を実施した。 ・モデル校による暑熱対策実践研究では、県立高校の部活動1部をモデル校に指定し、暑熱環境下における実践研究を行った。2026年にその成果と課題について県内に周知する。
課題	・体罰・不適切な指導・ハラスメント等の根絶に向けた児童生徒への関わり方の周知徹底をさらに行う必要がある。 ・近年問題となる暑熱環境下での運動部活動について、実践的課題を踏まえた効果的な対策を県内に周知する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・体罰や不適切な指導等の根絶や、医・科学的なトレーニングに基づく指導法及び安全管理などの研修会の実施			
		成果・課題	【成果】 ・体罰・ハラスメント根絶に関する研修会 1. eラーニングによる研修 県立学校の部活動顧問全て（約2,800人）を対象としたeラーニング研修を実施した。 2. 有識者による講演 県内公立中学校、高等学校の保健体育科教員約200人に対し、著名人による講演を行った。 ・モデル校による暑熱対策実践研究 県立高校の部活動1部をモデル校とし、暑熱環境下における実践研究を行った。また、スポーツドクターによる熱中症対策講演（オンデマンド）を行った。 【課題】 ・体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。 ・近年問題となっている、暑熱環境下での運動部活動について、WBGTの値で活動判断することは当然のことながら、活動する際もより実践的な暑熱対策を効果的に講じる必要がある。	評 価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	計画策定時	年間26回（2021年度）					
	指標の説明	「第4期岡山県障害者計画」で設定	目標値	年間50回以上（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				47回	49回	48回			

(2) 成果及び課題

成果	・岡山県障害者スポーツ大会（県大会）については、計9競技を実施し、個人競技682人、団体競技29人、公開競技8人、延べ719人の参加があった。 ・全国障害者スポーツ大会（全国大会）へは、個人競技（5競技）24人、団体競技（1競技）6人の選手の派遣を行った。 ・障害者スポーツ教室（教室）を17競技48回開催し、531人の参加があった。このうち、県北においても4競技4回行った。
課題	・障害者スポーツを通じて、障害のある人自身の社会参加を促進するとともに、障害のある人への理解を深める取組をより一層充実させ、共生社会の実現の一助となるよう取り組む必要がある。このため、今後県大会や教室事業の更なる充実により、事業参加者の増加に取り組むとともに、障害者スポーツの普及・啓発事業に取り組んでいく必要がある。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「岡山県障害者スポーツ教室」の開催 ・「全国障害者スポーツ大会」及び団体競技地区大会への選手団の派遣						
		成果・課題	【成果】 ・岡山県障害者スポーツ大会（県大会）は、個人競技7競技、団体競技1競技、公開競技1競技、計9競技を県内各地で実施し、個人競技では682人、団体競技では29人、公開競技では8人、延べ719人の参加があった。 ・全国障害者スポーツ大会（全国大会）へは、個人競技（5競技）24人、団体競技（1競技）6人の選手の派遣を行った。 ・障害者スポーツ教室を17競技48回開催し、531人の参加があった。このうち、県内各地域の障害のある人が参加しやすいよう、県北での開催も4競技4回行った。 【課題】 ・障害者スポーツを通じて、障害のある人自身の社会参加を促進するとともに、障害のある人への理解を深める取組をより一層充実させ、共生社会の実現の一助となるよう取り組む必要がある。このため、今後県大会や教室事業の更なる充実により、事業参加者の増加に取り組むとともに、障害者スポーツの普及・啓発事業に取り組んでいく必要がある。	評 価	2023年度	3			
					2024年度	3			
					2025年度	3			
					2026年度				
					2027年度				
					2028年度				

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (2) 障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、21人が受講した（修了者16人）。 - ボランティア活動について、「第25回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア273人、係員ボランティア66人の参加があった。
課題	指導員の養成講習会について、毎年の受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 - パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	【成果】 - 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、21人が受講した（修了者16人）。 - ボランティア活動について、「第25回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア273人、係員ボランティア66人の参加があった。 【課題】 - 指導員の養成講習会について、毎年の受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	1 アスリートの育成・強化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国民スポーツ大会における天皇杯順位	計画策定時	16位（2022年）					
	指標の説明	本県人口規模からは高い目標だが、恒常的に全国上位の競技力を維持することを目指して設定している。	目標値	10位台（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				20位	15位	20位			

数値目標	指標名	世界大会の出場者数	計画策定時	13人（2018年～2021年（2020年を除く）の平均）					
	指標の説明	岡山県ゆかりの選手がオリンピック・パラリンピック、最も権威ある世界大会に出場した人数の過去5年間の平均を勘案して設定。対象となる世界大会が隔年や4年ごとの開催となる競技もあるため、目標は3年間の平均とする。	目標値	15人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				14人	15人	25人			

（2）成果及び課題

成果	・競技団体ごとにトップレベルの選手を系統的に育成・強化しており、第79回国民スポーツ大会においては、正式競技37種目中34競技に561名の選手を派遣し、20位であった。 ・各競技団体で年代ごとに競技力強化に向けた対策を講じており、8競技団体11種目が競技体験会を実施し、4競技団体が中学生の競技力向上の事業を活用した。 ・オリンピック出場を目指す岡山県ゆかりのアスリート13名（内、冬季競技選手1名）を強化指定選手とし、大会等への参加、競技用具、コンディショニング等に関する費用など多角的な支援に取り組んだところ、1名が冬季オリンピックに出場した。 ・県内で開催される中学生以上を対象とする西日本規模以上のスポーツ大会の運営を支援し、競技に関わる人材の育成を含む競技力の向上や地域クラブ活動の充実を図った。
課題	・競技力強化に向けての事業が定着して効果的に進めることができていることから、各競技の指導者に専門的な知識を継続的に習得する機会を提供することが必要である。 ・国スポ大会のブロック予選の突破率、少年種目の成績が低下傾向にあること、学校部活動の地域展開や少子化の進行などに伴い、子どもが様々なスポーツに触れる機会が減少しつつあり、競技力の鈍化も懸念されることから、児童生徒を中心とした競技人口の拡大や、地域クラブ活動の充実に資する施策を一層進める必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・全国上位の競技力を恒常的に維持するため、ジュニア年代からの一貫指導体制の中で、系統的・継続的強化に取り組む必要があることから、各競技の年代ごとの県内トップレベルの選手を系統的に育成し、成年までつなげる競技力の向上を図る。 ・オリンピック出場を目指す岡山県ゆかりのアスリートを対象に、年度ごとに強化指定選手を選考し、大会等への参加、競技用具、コンディショニング等に関する費用を支援する。 ・審判員や指導者など競技に関わる人材の育成を含む岡山県の競技力向上や地域クラブ活動の充実を図るため、岡山県内で開催される中学生以上を対象とする西日本規模以上のスポーツ大会の運営を支援する。			
		成果・課題	【成果】 ・競技団体ごとにトップレベルの選手を系統的に育成・強化しており、第79回国民スポーツ大会においては、国スポ正式競技37種目中34競技に561名の選手を派遣し、新体操、バレーボール、ライフル射撃、陸上、ウエイトリフティングの5競技での優勝を含め、23競技で入賞、全入賞数は76であり、20位であった。 ・各競技団体で年代ごとに競技力強化に向けた対策を講じており、8競技団体11種目が競技体験会を実施し、4競技団体が中学生の競技力向上の事業を活用した。 ・オリンピック出場を目指す13名(内、冬季競技選手1名)の強化指定選手のうち、1名が冬季オリンピックに出場した。 ・県内で開催される中学生以上を対象とする西日本規模以上のスポーツ大会の運営を支援し、競技に関わる人材の育成を含む競技力の向上や地域クラブ活動の充実を図った。(R7年度：4件) 【課題】 ・競技力強化に向けての事業が定着して効果的に進めることができていることから、各競技の指導者に専門的な知識を継続的に習得する機会を提供することが必要である。 ・国スポ大会のブロック予選の突破率、少年種目の成績が低下傾向にあること、学校部活動の地域展開や少子化の進行などに伴い、子どもが様々なスポーツに触れる機会が減少しつつあり、競技力の鈍化も懸念されることから、児童生徒を中心とした競技人口の拡大や、地域クラブ活動の充実に資する施策を一層進める必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築				
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上				
施策名	2 アスリート育成パスウェイの構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課		

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者	計画策定時	4人（2021年度）					
	指標の説明	過去5年間（H29～R3）の内定者平均（3人）を勘案して設定	目標値	5人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				4人	3人	1人			

（2）成果及び課題

成果	・第79回国民スポーツ大会における少年種目は、入賞が少年男子23・少年女子16であり、特に、バレーボールが優勝したほか、体操（新体操）、陸上競技、水泳（競泳）、ローイング、卓球、ハンドボール、バレーボール（ビーチバレー）の全8種目において3位以内の成績を収めた。 ・学生アスリートを対象に研修会を開催し、デュアルキャリアについての啓発を行ったほか、次世代の指導者としても活躍が期待できるアスリート1名の就職が内定した。
課題	・競技力の強化体制を維持できている競技がある反面、競技力の強化や競技者の確保に窮している競技もあるため、より効果的な内容になるよう検討が必要である。 ・更なる協力企業の開拓やアスリートの就職支援につながるような、より効果的な研修等の検討が必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・競技団体において選抜した中学生に各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。 ・中学生年代における国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し、合同練習や試合を行う。 ・小学校や総合型地域スポーツクラブに専門指導者を派遣し、小学生にさまざまな運動やスポーツを実践する機会を提供する。 ・競技普及に窮している複数の競技団体と共同で体験会を実施する。 ・県内外で活躍する心身ともに優れたアスリートの就職を支援することで、優秀な人材を確保し、継続的に競技力の向上を図る。			
		成果・課題	【成果】 ・3競技団体において、選抜された中学生の選手にトップレベルの競技者に必要な能力を引き伸ばすためのトレーニングを実施した。 ・柔道競技において、国内トップ水準のチームを招聘し、選手のモチベーション向上やスキルアップにつながった。 ・小学生に各競技の入り口となる場や専門的な実技指導を受ける機会を提供し、競技人口の増加を図った。 ・水球、アーチェリー、ビーチバレー、ローイング、体操、弓道、スキー、スポーツクライミングの8競技団体で、競技団体指導者による専門的指導の下、体験会を実施した。 ・第79回国民スポーツ大会における少年種目は、入賞が少年男子23・少女女子16であり、特に、バレーボールが優勝したほか、体操（新体操）、陸上競技、水泳（競泳）、ローイング、卓球、ハンドボール、バレーボール（ビーチバレー）の全8種目において3位以内の成績を収めた。 ・学生アスリートを対象に研修会を開催し、デュアルキャリアについての啓発を行ったほか、次世代の指導者としても活躍が期待できるアスリート1名の就職が内定した。 【課題】 ・競技力の強化体制を維持できている競技がある反面、競技力の強化や競技者の確保に窮している競技もあるため、より効果的な内容となるよう検討が必要である。 ・更なる協力企業の開拓やアスリートの就職支援につながるような、より効果的な研修等の検討が必要である。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	2
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	2.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	3 指導者の育成・資質向上	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	計画策定時	3,206人（2022年度）					
	指標の説明	毎年度、50人程度の登録者増を目指すこととする。 （1.1倍程度の増）	目標値	3,600人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				3,486	4,012	4,738			

（2）成果及び課題

成果	・6競技から8名の推薦を受け、7名がコーチ資格講習会を受講しており、指導者としての基礎となる知識や各競技の専門知識を継続的に習得することができている。 ・競技スポーツを推進できるよう、次世代の指導者としても活躍が期待されるアスリート1名の就職が内定した。
課題	・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えている。 ・指導者に求められる基礎的な資質能力の継続的な向上が課題である。 ・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくことが求められる。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくために、指導者育成制度等への参加を促すことで、コーチとしてのあり方を再認識するなど、指導者としての基礎となる知識や各競技の専門知識を継続的に習得する機会を提供する。 ・アスリートの就職を支援し、次世代の指導者としても活躍が期待できる若手人材の確保に取り組む。				
		成果・課題	【成果】 ・6競技から8名の推薦を受け、7名がコーチ資格講習会を受講しており、指導者としての基礎となる知識や各競技の専門的知識を継続的に習得することができている。 ・競技スポーツを推進できるよう、次世代の指導者としても活躍が期待されるアスリート1名の就職が内定した。 【課題】 ・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えている。 ・指導者に求められる基礎的な資質能力の継続的な向上が課題である。 ・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくことが求められる。	評価	2023年度	3	
					2024年度	4	
					2025年度	4	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	4.0	4.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	・パラリンピック・デフリンピック出場を目指す岡山県ゆかりの障害者アスリート3名を強化指定選手とし、大会等への参加、競技用具、コンディショニング等に関する費用など多角的な支援に取り組んだところ、1名の強化指定選手がデフリンピックに出場した。
課題	・障害の特性に応じた専門的な指導を受けることができるよう支援する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・パラリンピック・デフリンピック出場を目指す岡山県ゆかりの障害者アスリートを対象に、年度ごとに強化指定選手を選考し、大会等への参加、競技用具、コンディショニング等に関する費用を支援する。			
		成果・課題	【成果】 ・パラリンピック・デフリンピック出場を目指す3名の強化指定選手のうち、1名の強化指定選手が夏季デフリンピックに出場した。 【課題】 ・障害の特性に応じた専門的な指導を受けることができるよう支援する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	5 アスリートの安全・安心の確保	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	・全国大会等に出場するアスリートを対象に、延べ708名に体力的サポート、延べ20名に心理的サポート、延べ945名に栄養サポート、11団体にスポーツファーマシスト連携を行った。 ・スポーツ医科学の知識を持ったトレーナーを20競技の全国大会等に派遣した。
課題	・県と県スポーツ協会医・科学委員会とで一体となり、更なる医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねる必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・アスレティックトレーナー等を競技会や練習会等へ派遣し、選手の故障を予防するとともに、選手のパフォーマンスの向上に必要なコンディショニング指導や医・科学サポートを行う。			
		成果・課題	【成果】 ・全国大会等に出場するアスリートを対象に、延べ708名に体力的サポート、延べ20名に心理的サポート、延べ945名に栄養サポート、11団体にスポーツファーマシスト連携を行った。 ・スポーツ医科学の知識を持ったトレーナーを20競技の全国大会等に派遣した。 【課題】 ・県と県スポーツ協会医・科学委員会とで一体となり、更なる医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねる必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	計画策定時	34.3%（2021年度）					
	指標の説明	スポーツ庁が実施する「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」による全国（R3：46.2%）と本県（R3：34.3%）の割合をもとに数値目標を設定	目標値	50.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				51.7%	48.4%	50.0%			

数値目標	指標名	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	計画策定時	28.2%（2022年度）					
	指標の説明	岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」において、「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合について、38.0%を達成することを目指す。	目標値	38.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				31.0%	30.6%	—	—	—	—

（※1）

数値目標	指標名	県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合	計画策定時	21.7%（2023年度）					
	指標の説明	岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」において、県内で行われたスポーツ大会等を観戦した人の割合について、25%を達成することを目指す。 ※2025年改訂版により、目標値が新たに設定されたものである。	目標値	25.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				21.7%	24.6% （※2）	24.8%			

※1 「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値（生き生き指標）が下の「県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合」に変更されたことに伴い、対象調査での集計が終了。

※2 確定値に修正。

（2）成果及び課題

成果	・市町村に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、部活動の地域展開に向けて、総合型地域スポーツクラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型地域スポーツクラブに学校部活動との連携を働きかけた。 ・トップクラブチームと連携した「おかやまスポーツフェスト」を実施し、スポーツの裾野の拡大を図った。
課題	・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進している場合があり、総合型地域スポーツクラブの認知度が低いところもあるため、引き続き、市町村と連携し、地域クラブ活動を実施する団体等に総合型地域スポーツクラブを活用するための情報を提供する必要がある。 ・スポーツの裾野の更なる拡大に向けて、より効果的な企画について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・市町村等に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、岡山県スポーツ協会と連携して、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の導入促進など質的充実を図る。 ・岡山県スポーツ協会に委託し、広域スポーツセンター業務を担うスタッフを設置する。 ・トップクラブチームと連携した「おかやまスポーツフェスト」を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・市町村に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、部活動の地域展開に向けて、総合型クラブ等を活用した地域クラブ活動の在り方に向けた情報提供を行った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型地域スポーツクラブに学校部活動との連携を働きかけた。 ・トップクラブチームと連携した「おかやまスポーツフェスト」を実施し、スポーツの裾野の拡大を図った。 【課題】 ・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進している場合があり、総合型地域スポーツクラブの認知度が低いところもあるため、市町村と連携し、地域クラブ活動を実施する団体等に総合型地域スポーツクラブを活用するための情報を提供する必要がある。 ・スポーツの裾野の更なる拡大に向けて、より効果的な企画について検討する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国際スポーツイベント等誘致件数	計画策定時	2件（2022年度見込）					
	指標の説明	毎年度2件以上の誘致を目指すこととする。	目標値	2件以上（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				3件	3件	5件			

（2）成果及び課題

成果	・おかやまマラソン2025では、全国各地から参加した16,000人のランナー、大会を支えた4,900人のボランティア、113,000人も応援者など、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、大きな盛り上がりとなった。 ・マスカットスタジアムにおいて、プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦2試合が開催された。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントである「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2025」が開催された。
課題	・様々なスポーツイベントへの誘客促進を図るとともに、イベントをどのように地域活性化につなげていくか、方法等を検討し、取り組む必要がある。 ・おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。

3 各課における評価

番号		部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・海、湖、里、山といった地域資源を生かした環境スポーツイベントである「SEA TO SUMMIT」を備前市において開催し、スポーツ活動への参加機会を提供することでスポーツ活動人口の増加を図るとともに、地域の魅力を発信することでイベントへの参加をきっかけとしたスポーツツーリストのリピーター化を促進し、地域の活性化およびスポーツツーリズム推進を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2025」については、218名（前年度比で64人増）が参加した。 【課題】 ・地域資源を生かした「SEA TO SUMMIT」等のイベントを通じて、県内市町村と連携し、地域の活性化を図る。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

2	スポーツ振興課（おかやまマラソン事務局）	事業内容	・岡山市をはじめ関係団体との連携のもとで、中四国最大規模の都市型マラソン大会を開催し、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。 ・前回大会での運営面の改善を図りながら、参加者アンケートでの意見等も参考に更なるランナーサービスの向上にも取り組む。			
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2025では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・フルマラソン定員15,000人に対し、25,594人応募 ・ファンラン定員1,400人に対し、2,932人応募 ・ボランティア4,900人 ・沿道応援113,000人 ・経済波及効果額19.2億円 【課題】 ・引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4
					2024年度	4
					2025年度	4
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

3	都市計画課	事業内容	・マスカットスタジアムにプロ野球を誘致するため、「岡山にプロ野球を誘致する会」を中心に誘致活動を行う。 ・プロ野球開催時に球場周辺の賑わいづくりを実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦2試合が開催された。 ・プロ野球オープン戦開催時に、畜産加工品等のPRを行い、球場周辺の賑わいづくりを行った。 【課題】 ・プロ野球の試合数が少ない状況が続いているため、より多く試合が開催されるよう各プロ野球球団に対して働きかけを行う必要がある。 ・楽天の秋季キャンプについて、令和2年度以降実施されていないので、再び実施してもらえるよう楽天に対して働きかけを行う必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.3	3.3	3.3			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	3 トップクラブチームを核とした地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	計画策定時	111千人（2021年度）					
	指標の説明	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャルム岡山高梁、岡山リベッツ、トライフーズ岡山、倉敷アブレイズのホームゲームにおける観客動員数（新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準（243千人）の1.1倍程度とする。） ※倉敷アブレイズ：2024年度実績からの集計である。	目標値	267千人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				248	264	377			

（2）成果及び課題

成果	・トップクラブチームのホームゲームにおいて応援イベント「おかやまスポーツフェスト」を実施し、県全体で応援する気運の醸成を図った。 ・J1リーグのファジアーノ岡山の試合において「いらっ祭おかやま」を実施し、岡山の観光情報の発信や、アウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進を図った。 ・県内のトップアスリート等を市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、競技力の向上と地域スポーツの振興を図った。
課題	・より多くの県民の観戦の機会となるよう、イベント内容の充実等に取り組む必要がある。 ・トップクラブチームのホームゲームやアウェイゲームを活用したイベントについて、相手チームやその関係自治体等と連携を図るなどの工夫を行い、さらなる誘客を促進する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップクラブチームのホームゲームにおいて、「おかやまスポーツフェスト」等を実施し、スポーツ活動に取り組む人やファン・サポーター等の拡大、県全体で応援する気運の醸成を図る。 ・ファジアーノ岡山等と連携し、Ｊ１リーグの試合において、「いらっ祭おかやま」を実施し、岡山の情報を広く発信するとともに、アウェイサポーターの誘客促進など、県域を越えた交流や観光・物産による地域の活性化を図る。 ・県内のトップアスリート等を市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、トップアスリートとの交流の機会を提供するとともに、技術指導を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・「おかやまスポーツフェスト」等において、デジタルスタンプラリーなどの企画を実施し、県全体で一体的に応援する気運の醸成を図った。 ・「いらっ祭おかやま」において、関係県との交流を深めるとともに、岡山の観光情報の発信や、アウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進を図った。 ・県内のトップアスリート等を市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、競技力の向上と地域スポーツの振興を図った。（Ｒ７年度：296回派遣、Ｒ６年度：287回派遣） 【課題】 ・より多くの県民の観戦の機会となるよう、イベント内容の充実や広報に取り組む必要がある。 ・トップクラブチームのホームゲームやアウェイゲームを活用したイベントについて、相手チームやその関係自治体等と連携を図るなどの工夫を行い、さらなる誘客を促進する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	担当課室	国民スポーツ大会推進室 (スポーツ振興課)

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題(2024年度施策評価シート)

成果	- 岡山市、倉敷市等と合同実行委員会を組織し、大会の開催準備から大会運営まで滞りなく行った。 - 本県での開催競技に係る県内選手の育成・強化を図った。 - 冬季大会の開催にあたり、スケート子ども体験教室を県内各地で実施するなど、県民を挙げて盛り上げる機運の醸成を図るとともに、冬季スポーツの普及・振興につなげた。
課題	

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	国民スポーツ大会推進室 (スポーツ振興課)	事業内容				
		成果・課題		評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	・スポーツ推進委員協議会における情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・部活動の地域展開に向け、指導者の人材確保や資質向上のための研修会を4回開催（参加者：192人）するとともに、研修会において人材バンクへの登録を働きかけるなど指導者の確保を図った。 ・おかやまマラソンにおいて、県民にスポーツボランティアへの関心を持ってもらうため、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集するとともに、ボランティア研修会等を通じてボランティアリーダーの育成を行った。 ・岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、21人が受講した（修了者16人）。 ・ボランティア活動について、「第25回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア273人、係員ボランティア66人の参加があった。
課題	・地域スポーツ活動の推進のため、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員等との連携を図る必要がある。 ・部活動の地域展開に向けて、指導者の更なる確保と資質向上に取り組む必要がある。 ・おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。 ・指導員の養成講習会について、毎年受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツ推進委員の活動を活性化し、地域スポーツの推進を図る。 ・スポーツ活動の指導者について、ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」への登録を促進し、指導者等に研修会情報を提供する。 ・部活動の地域展開に当たり、指導者の人材確保や資質向上を図るため、研修会を開催する。				
		成果・課題	【成果】 ・スポーツ推進委員協議会における情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・部活動の地域展開に向け、指導者の人材確保や資質向上のための研修会を4回開催（参加者：192人）するとともに、研修会において人材バンクへの登録を働きかけるなど指導者の確保を図った。 【課題】 ・地域スポーツ活動の推進のため、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員等との連携を図る必要がある。 ・部活動の地域展開に向けて、指導者の更なる確保と資質向上に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
2	スポーツ振興課（おかやまマラソン事務局）	事業内容	・おかやまマラソンにおいて、県民が一体となって「支える」大会となるよう、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集する。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2025においては、ランナー受付、給水・給食、沿道整理等において5,000人のボランティアが大会を「支える」人として活躍した。 ・大会後に行ったボランティアを対象としたアンケートでは、活動内容に「大変満足」「ますます満足」との回答が8割を超え、来年度以降の活動についても8割が「ぜひ活動したい」「どちらかといえば活動したい」と回答しており、「支える」立場として参加したことに対する満足度の高さがうかがえた。 【課題】 ・ボランティア経験者に対しては、リピーターとなってもらえるように、更に満足度を高めるための工夫を検討する。 ・ボランティア未経験者に対しては、参加の裾野を広げるため、様々な媒体を活用した効果的なPRを行う。	評価	2023年度	4	
					2024年度	4	
					2025年度	4	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
3	障害福祉課（再掲）	事業内容	・岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 ・パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣				
		成果・課題	【成果】 ・岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、21人が受講した。（修了者16人） ・ボランティア活動について、「第25回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア273人、係員ボランティア66人の参加があった。 【課題】 ・指導員の養成講習会について、毎年受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.3	3.3	3.3			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課 保健医療部健康推進課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	県営スポーツ施設利用者数	計画策定時	492千人（2021年度）					
	指標の説明	岡山県総合グラウンド、倉敷スポーツ公園、岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場の利用者数。（H30(1,735千人)とR元(1,623千)の平均(1,679千人)を基準に、1割程度の増を目指す。）	目標値	1,847千人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				1,480	1,576	1,730			

（2）成果及び課題

成果	・障害のある人も含め、利用者の利便性向上のため、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山陸上競技場合併処理施設改修工事など、各施設の改修を行い、利便性の向上を図った。 ・全体の利用者数は増加傾向である。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。
課題	・施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していくとともに、ユニバーサルデザインに関する知識の向上等利用者サービスの向上に向けた取組を行っていく必要がある。 ・スポーツ施設について、更なる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。また、感染症対策をはじめとした、利用者の安全安心に繋がる取組を強化する必要がある。 ・各施設の老朽化が進み、今後施設・設備の改修費用が高んできることから、個別施設計画に基づき、計画的な改修等により長寿命化を図っていく必要がある。中でも利用者の安全に関わる設備等については速やかに実行する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり				
		成果・課題	【成果】 ・全ての施設（岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場）について、障害のある人も含め、利用者の利便性向上のため、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山陸上競技場合併処理施設改修工事をはじめ、あらゆる立場の人が利用しやすい施設となるよう改修を行った。 【課題】 ・引き続き、施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していく必要があるが、予算措置が困難な事案もある。細やかな施設整備を行うことで、利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要があるため、施設管理者を対象とした研修会を実施するなど、ユニバーサルデザインに関する知識の向上を図る必要がある。	評価	2023年度	2	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
		事業内容	・計画的に改修等を行い、施設の長寿命化等を図るための個別施設計画を策定するとともに、その実行に取り組む。 ・指定管理者と連携しながら、積極的な利用者サービスの向上に向けた取組を行い、安全で適切な施設管理に努める。 ・スポーツ施設等の情報提供等に取り組み、利用者の増加や活用促進を図る。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に、施設・設備の点検や管理体制等の適切で具体的な知識についての情報提供を行う。				
		成果・課題	【成果】 ・津山東体育館バスケットゴール更新工事をはじめ、各施設の修繕等を行った。 ・指定管理者と連携し、利用サービスの向上に向けて施設管理を行った。 ・ホームページを活用した施設情報の提供を行い、スポーツ施設の活用を促進した。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に施設・設備の点検等についての情報提供を行った。 【課題】 ・施設管理者と連携しながら、施設の修繕や長寿命化等を計画的に実行する必要があるものの、必要な予算の確保等に課題がある。利用者及び職員の安全確保のため、防火避難上重要な設備については修繕等を速やかに実行する必要がある ・利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要がある。 ・環境負荷低減への社会的なニーズを踏まえ、個別施設計画に盛り込んだ照明設備のLED化等の計画的な実施に加え、太陽光パネル設置の検討など県有施設の省エネ化に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

2	都市計画課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり			
		成果・課題	【成果】 ・障害のある人だけでなく子どもから高齢者まで、そして観客・競技者・運営者などあらゆる立場の人が不便を感じることなく利用できるよう、施設にはきめ細かくユニバーサルデザインを採用している。 （車椅子対応観客席、車椅子対応スロープ、車椅子対応型エレベーター、車椅子使用者駐車場、多目的トイレ、音声案内エレベーター、点字ブロック等） ・総合グラウンドの体育館と野球場の間にある屋外多目的トイレについて、清潔で明るく車いす利用者が利用しやすい多目的トイレへの改修に合わせ、ベビーチェアを設置した。 ・倉敷スポーツ公園のマスカットスタジアム内の多目的トイレについて、温水洗浄便座への改修を行った。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	
		事業内容	・長寿命化計画に基づき、施設機能の維持充実のため必要な改修整備を実施する。 ・指定管理者は利用者のニーズにあった自主事業を実施する。 ・指定管理者は安全管理計画を策定し、これに基づき施設管理を実施する。 ・指定管理者は包括協定に基づき、アンケートを実施するなど利用者のニーズを把握し、ニーズにあった運営を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・総合グラウンドは、コンソーシアムが指定管理者となっており、構成員の有するノウハウ、情報発信力を生かして幅広いイベントの実施、効果的な利用促進策を展開した。 ・倉敷スポーツ公園のマスカットスタジアムについて、人工芝や観客席の改修を行うなど、施設機能の維持充実に努めた。 ・安全管理計画に基づき施設管理を行った。 ・指定管理者と連携をしながら、利用者からのアンケートを実施するなどサービス向上を行った。 【課題】 ・総合グラウンドについては、ファジアーノ岡山のＪ１リーグ昇格により、観客数が大きく増加している。また近年の温暖化の影響を受け、高校等の体育祭、球技大会等を冷房完備のアリーナで開催する学校が増加している。基本的な感染症対策、熱中症対策等に加え、適切な設備管理、樹木管理等により、利用者の安全を確保した上で、更なる利用の促進を推進していく必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	3
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

3	健康推進課	事業内容	岡山県南部健康づくりセンターの利用促進				
		成果・課題	【成果】 ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。 【課題】 ・利用者の利便性向上のため、更なる取り組みが必要である。 ・令和9年度末の公の施設廃止に向け、必要な改修整備に取り組む。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
4	保健体育課	事業内容	・学校体育施設開放事業の推進				
		成果・課題	【成果】 ・R5年度開放状況 屋外運動場71.9%（74.1%）、体育館82.6%（83.9%）、 武道場45.6%（46.9%） ※（ ）は全国平均 ※学校体育施設設置等状況調査（R6.10月時点） 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率が全国平均を下回る中、学校部活動の地域移行が進むにつれ、学校体育施設の利用ニーズが高まってきていることから、さらに多くの県民が利用できるように、これまで利用実績の無かった学校についても、引き続き、利用申請に対する受付体制の確立や意識改革を促していく必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	3	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	2.8	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	3 スポーツ界におけるDXの推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	岡山武道館等、各県有スポーツ施設でキャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図った。
課題	個人利用が主体のため、団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少なく、利用率が高くない施設もある。

3 各課における評価

番号		部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・多くの県民が利用する県有施設に、キャッシュレス決済を導入し、利用料金支払いの利便性の向上を図る。					
		成果・課題	【成果】 ・2023年度に岡山武道館、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場、津山総合体育館、備前テニスセンター、美作ラグビー・サッカー場の各窓口でキャッシュレス対応端末を設置し、利便性が向上した。 【課題】 ・個人利用が主体のため、団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少ない。	評価	2023年度	3		
					2024年度	3		
					2025年度	3		
					2026年度			
					2027年度			
					2028年度			
2	都市計画課	事業内容	・岡山県総合グラウンドと倉敷スポーツ公園の利用者の利便性の向上を図るため、利用料金の支払いに、キャッシュレス決済を導入する。					
		成果・課題	【成果】 ・2023年度から、岡山県総合グラウンドでは陸上競技場や体育館の窓口などに、倉敷スポーツ公園ではマスカットスタジアムの窓口でキャッシュレス対応端末を設置している。 ・2024年度には、岡山県総合グラウンドにキャッシュレス対応の自動券売機3台を導入した。 ・以前より、キャッシュレス対応を望む声は少なからずあったため、利便性が向上したと考えている。 【課題】 ・両施設とも、金額の大きい案件については、口座振替となっているものが多いため、収入額全体に占めるキャッシュレス利用率は、あまり高くはない。	評価	2023年度	3		
					2024年度	3		
					2025年度	3		
					2026年度			
					2027年度			
					2028年度			

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	3.0			

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2025年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	計画策定時	28,103件（2018年度～2021年度の平均）					
	指標の説明	過去4年（H30～R3）の平均（28,103件）を基準に、1.5倍程度の増を目指す。（R3：東京大会によるアクセス増）	目標値	42,000件（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				26,273	22,328	55,119			

（2）成果及び課題

成果	・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通じたスポーツ情報の発信をはじめ、地域クラブ団体等の情報検索機能に係るシステム改修に取り組んだ。 ・2025年度も多くのアスリートが各種大会で活躍し、岡山県スポーツ特別顕彰は4名、岡山県トップアスリート賞は個人58名・団体9、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3名、岡山県スポーツマスターズ賞は個人6名を表彰した。
課題	・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、適宜システム改修を行うとともに、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど効果的な情報発信に取り組む必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・県内での「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動の充実のため、県内のスポーツ情報を一括提供できる唯一のポータルサイトである「おかやまスポーツナビ」をより魅力的なものに充実させ、県内各地で行われているスポーツ情報を発信する。 ・国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた個人又は団体及び優秀な指導者を顕彰し、本県スポーツの振興に資する。				
		成果・課題	【成果】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通じたスポーツ情報の発信をはじめ、地域クラブ団体等の情報検索機能に係るシステム改修に取り組んだ。 ・2025年度も多くのアスリートが各種大会で活躍し、岡山県スポーツ特別顕彰は4名、岡山県トップアスリート賞は個人58名・団体9、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3名、岡山県スポーツマスターズ賞は個人6名を表彰した。 【課題】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、適宜システム改修を行うとともに、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど効果的な情報発信に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度	4	
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0	4.0			